

# 基本計画の策定について

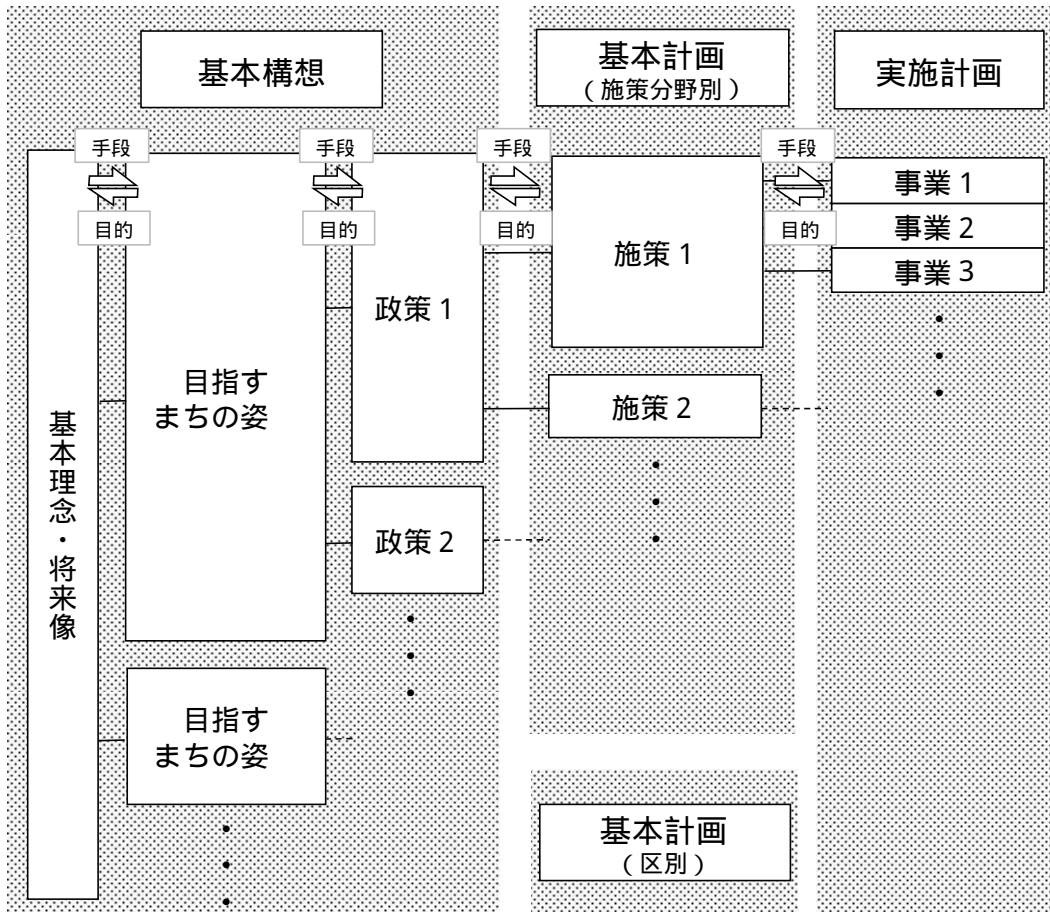
## 目 次

1	次期総合計画の構成 .....	1
2	基本計画の構成.....	2
	( 1 ) 施策分野別基本計画	
	( 2 ) 基本計画の推進に向けて	
	( 3 ) (仮称)重点プロジェクト	
	( 4 ) 区別基本計画	
3	成果指標と進行管理について.....	3
	( 1 ) 成果指標	
	( 2 ) 進行管理	
4	その他 .....	4
	( 1 ) 基本計画策定に係る総合計画審議会の開催日程	
	( 2 ) 財政の見通し	

# 1 次期総合計画の構成

次期総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構成とし、基本計画は基本構想を実現するための施策の方向を定める「施策分野別基本計画」と区特性を踏まえたまちづくりの基本的な方向を示す「区別基本計画」で構成する。

次期総合計画の体系



## < 政策 施策 事業の関係 >

本計画における「政策 施策 事業」の関係は、次のとおり定義する

**政策**：政策の基本方向として、まちづくりの大局的な目標や方向性を示すもの

**施策**：政策の実現に向けた施策とその取組の方向を示すもの

**事業**：施策を実現するための事務・事業を定めるもの

## 2 基本計画の構成

「施策分野別基本計画」、「基本計画の推進に向けて」、「(仮称)重点プロジェクト」及び「区別基本計画」で構成する。

### (1) 施策分野別基本計画

施策分野別基本計画は、基本構想で示す「目指すまちの姿、政策」に基づき施策を体系化し、施策ごとに 現状と課題、 取組の方向、 成果指標を定める。

また、施策の推進に当たり持続可能な開発目標(以下「SDGs」という。)を意識して取り組むとともに相関関係をわかりやすく示すために、施策ごとにSDGsの17の目標を位置付ける。

#### 現状と課題

おおむね20年後の目指すまちの姿を見据えたうえで、現状と取り組むべき課題を示す

#### 取組の方向

課題解決のために取り組むべき方向を規定

#### 成果指標

施策達成状況を明らかにし、市民に分かりやすい計画とするため、原則として取組の方向ごとに数値目標を設定する( 詳細は「3(1)成果指標」で説明)

### (2) 基本計画の推進に向けて

施策を推進するための行政運営の基本的な方針を、基本構想に定めた「実現に向けた基本姿勢」を踏まえ、定める。

### (3) (仮称)重点プロジェクト

将来像、目指すまちの姿の実現に向け、施策分野別基本計画の施策建てとは別に、市が抱える大きな課題をテーマに掲げ対応する施策を分野横断的に定める。

なお、具体的なプロジェクトは、施策の方向に従って定める必要があるため、「施策分野別基本計画」を審議後、原案を審議会に諮る予定。

### (4) 区別基本計画

施策分野別基本計画を基に区の特性や課題を踏まえ、区の目指す姿を定めるとともに、その実現に向けた取組の基本的な方向性を示すもの。

### 3 成果指標と進行管理について

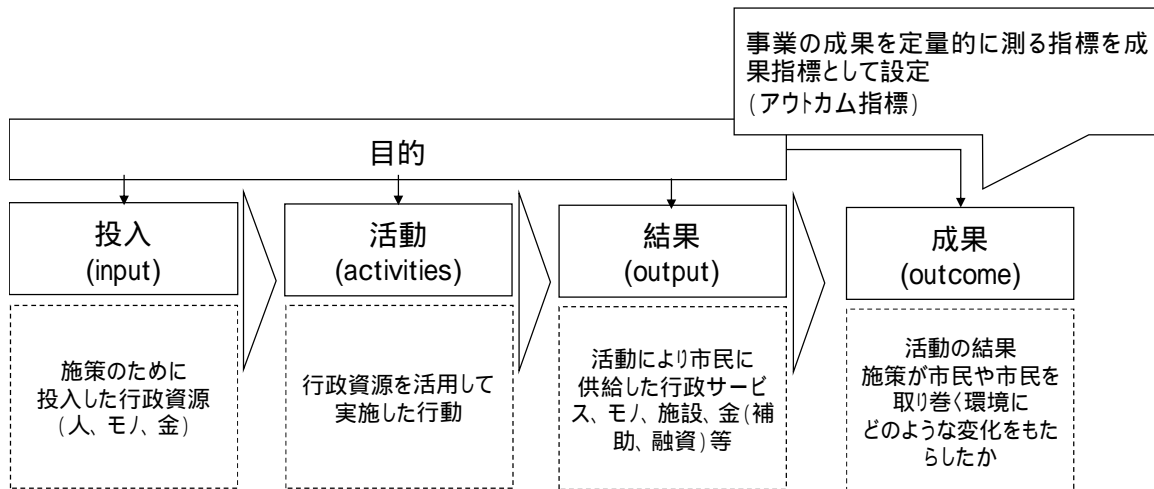
#### (1) 成果指標

##### 【成果指標の定義】

- ・ 成果指標とは、施策目的の達成度を測るための数値目標であり、それを達成することにより、施策目的が達成できたものとして判断するもの
- ・ 達成状況を明確に分析し、評価・検証を行い、市民に公表することにより、成果重視の效果的、効率的な行政運営を進めることができる

##### 【成果指標設定の考え方】

- ・ 目標値の設定は、平成30年度を基準とし、基本計画の前期4年の最終年次である令和5年度を中間目標年度とするとともに、基本計画の最終年度である令和9年度を最終目標年度とする
- ・ 総合計画審議会において施策を評価し、PDCAサイクルを実施するため、数値は毎年把握できるものとする
- ・ 行政活動によって得られた効果を測るため、客観的なアウトカム指標の設定を基本とし、客観的に効果を測りがたいものについては主観的なアウトカム指標を設定する



##### 【アウトカム指標 (行政の活動による効果に着目した指標) の例】

(例1) ごみの総排出量 (例2) ~ ~に対する市民の満足度

##### 【アウトプット指標 (行政の活動そのものに着目した指標) の例】

(例1) ~ ~の開催回数 (例2) ~ ~の派遣回数

##### 【客観的なアウトカム指標の例】

(例1) ~ ~相談のうち解決に至った件数の割合 (例2) ごみの総排出量

##### 【主観的なアウトカム指標の例】

(例1) ~ ~と感じている市民の割合 (例2) ~ ~に対する市民の満足度

- ・ 広域交流拠点の整備、リニア中央新幹線、小田急多摩線など広域交通ネットワークの整備、いわゆるハコモノ整備等、整備が完了しないと効果が発現されない施策については、成果指標を設定しない  
 ただし、都市計画決定 事業認可 設計 建設など、年度ごとの事業計画を設定することは可能なことから、実施計画でそれらを定め、進行管理ではその進捗を確認

#### 【目標値の考え方（参考）】

- ・ 成果指標の目標値は、それぞれの施策に求められる効果に対して、どのレベルの数値とするのか（＝市民が満足できるか）を基本として、以下の3つの値が考えられる

期待値・・・	様々な課題が解決されたうえで達成しうる理想的な目標値
充足値・・・	社会的に望ましい充足度合となる目標値
下限値・・・	施策を推進するうえで最低限必要な目標値

成果指標の原則論としては、「充足値」を基本に設定する

#### （２）進行管理

- ・ 計画の着実な推進と適時性の確保を図るため、総合計画審議会において施策を評価し、それを踏まえて改善に取り組むことで、適切なPDCAサイクルを実施する
- ・ 進行管理の結果を市民に公表することで、市政運営の透明化を図る

#### 4 その他

##### （１）基本計画策定に係る総合計画審議会の開催日程

基本計画策定に当たっては、審議会を全7回開催する予定。開催日程及び審議事項は資料1-2のとおり。

##### （２）財政の見通し

基本計画は、財政の見通し（長期財政収支）を踏まえたうえで策定を行うが、財政状況は、社会経済情勢や国の制度改正などにより毎年変化することが見込まれる。

このため、基本計画策定時における財政の見通し及びその見直しの状況については、総合計画の冊子には掲載せず、別途公表する。